

7. フィリピン

■正式国名：フィリピン共和国

Republic of the Philippines

■政治形態：共和制

■面積：30万km²（日本の約80%）

■人口：1億1,556万人

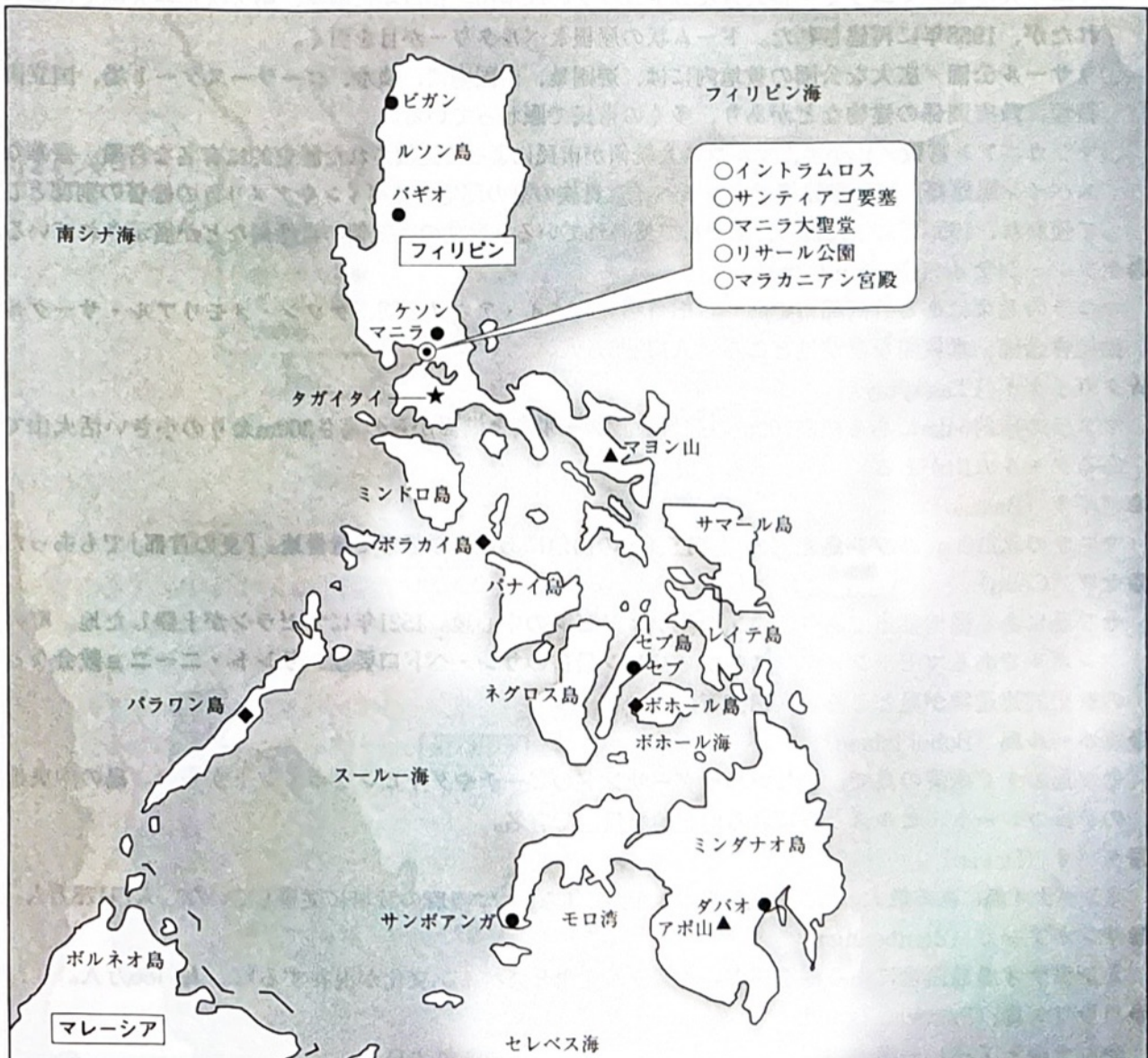
■言語：フィリピン語（国語、公用語）、英語（公用語） ■通貨：フィリピン・ペソ（1フィリピン・ペソ=2.6927円）

■住民：主にマレー系のフィリピン人。

■宗教：カトリックが83%。その他プロテスタント、イスラム教など。

■地勢：7,000以上の島からなり、名を持つ島は2,700余り、大半は無名の小サンゴ礁である。主要な島はルソン、ミンダナオの2島のほか9島を加えた計11島で、全国土面積の90%を超える。

■気候：熱帯性のモンスーン型気候で、乾期、暑期、雨期の3つに分けられるが、地域によって気候が違ふ。



- 観光：大型客船や高速フェリーで島巡り。火山に登るツアー（タガイタイ）。パグサンハン川急流下りツアー。マゼランが持ってきたとされる大きな十字架（セブ島のマゼラン・クロス）
- 名物料理：レチョン（豚の丸焼き）。シニガン（酸味の効いた魚と野菜のスープ）
- 土産品：木彫製品。貝細工。民族衣装。マニラ麻。ドライフルーツ
- アトラクション：民族舞踊（バンブーダンス）。マリン・スポーツ

●マニラ（Manila）

フィリピンの首都。同国最大の島ルソン島の南西部、マニラ湾に面する港湾都市。1571年にスペインのフィリピン支配の中心となって以来、アメリカの支配時代と独立後を通じて政治・経済・文化の中心都市。人口185万人。

- イントラムロス／16世紀にスペインの初代フィリピン総督レガスピが構築した城塞都市。当時は、スペイン人と混血のメステイーソしか住むことができなかった。
- サンティアゴ要塞／イントラムロスの北西端にある、第2次世界大戦中、日本軍に占領されていた要塞。内部には、フィリピンの英雄ホセ・リサールの遺品を展示しているリサール記念館がある。
- マニラ大聖堂／マニラで一番大きなカトリックの総本山。1571年に創建、第2次世界大戦で破壊されたが、1958年に再建された。ドーム状の屋根とベルタワーが目を引き。
- リサール公園／広大な公園の敷地内には、遊園地、中国庭園、噴水、ローラースケート場、国立図書館、政府関係の建物などがあり、多くの市民で賑わっている。
- マラカニアン宮殿／1986年、マルコス大統領が市民によって追放された歴史的に有名な宮殿。豪華なスペイン風建築。1750年建築以来、スペイン貴族の夏の邸宅、スペインやアメリカの総督の別邸として使われ、1935年より大統領官邸として使われている。歴代の大統領の肖像画などが展示されている。

●ケソン・シティ（Quezon City）

マニラの北東にある計画都市であり、旧首都。ニノイ・アキノ公園、ケソン・メモリアル・サークル、動植物公園、水族館などが見どころ。人口296万人。

★タガイタイ（Tagaytay）

マニラの南約64kmにある標高700mの避暑地。タール湖と湖面からの高さ300m余りの小さい活火山であるタール火山がある。

●バギオ（Baguio）

マニラの北210km、ルソン島北部の標高1,500mの山地にある高原都市で避暑地。「夏の首都」でもあった。

●セブ（Cebu）

セブ島にある港湾都市であり、中・南部フィリピンの中心地。1521年にマゼランが上陸した地。町のシンボルであるマゼラン・クロスやフィリピン最古のサン・ペドロ要塞、サント・ニーニョ教会などの歴史的建造物が見どころ。人口96万人。

◆ボホール島（Bohol Island）

セブ島のすぐ南隣の島で、美しいパウダーサンドのビーチやダイビングポイントが多い。島の中央部のチョコレート・ヒルズと呼ばれる幻想的な景観で有名。

●ダバオ（Davao）

ミンダナオ島にある最大の町。戦前は日本人が多く住み、マニラ麻の栽培に従事していた。人口178万人。

●サンボアンガ（Zamboanga）

ミンダナオ島最西端にある港湾都市。イスラム文化とスペイン文化が混在する町。人口86万人。

◆パラワン島（Palawan Island）

南シナ海とスルー海との間にあり、世界中のダイバーに人気の島。